



第7回 まちめぐり (甘沼の福祉施設見学) 報告書

平成27年12月20日（日）実施

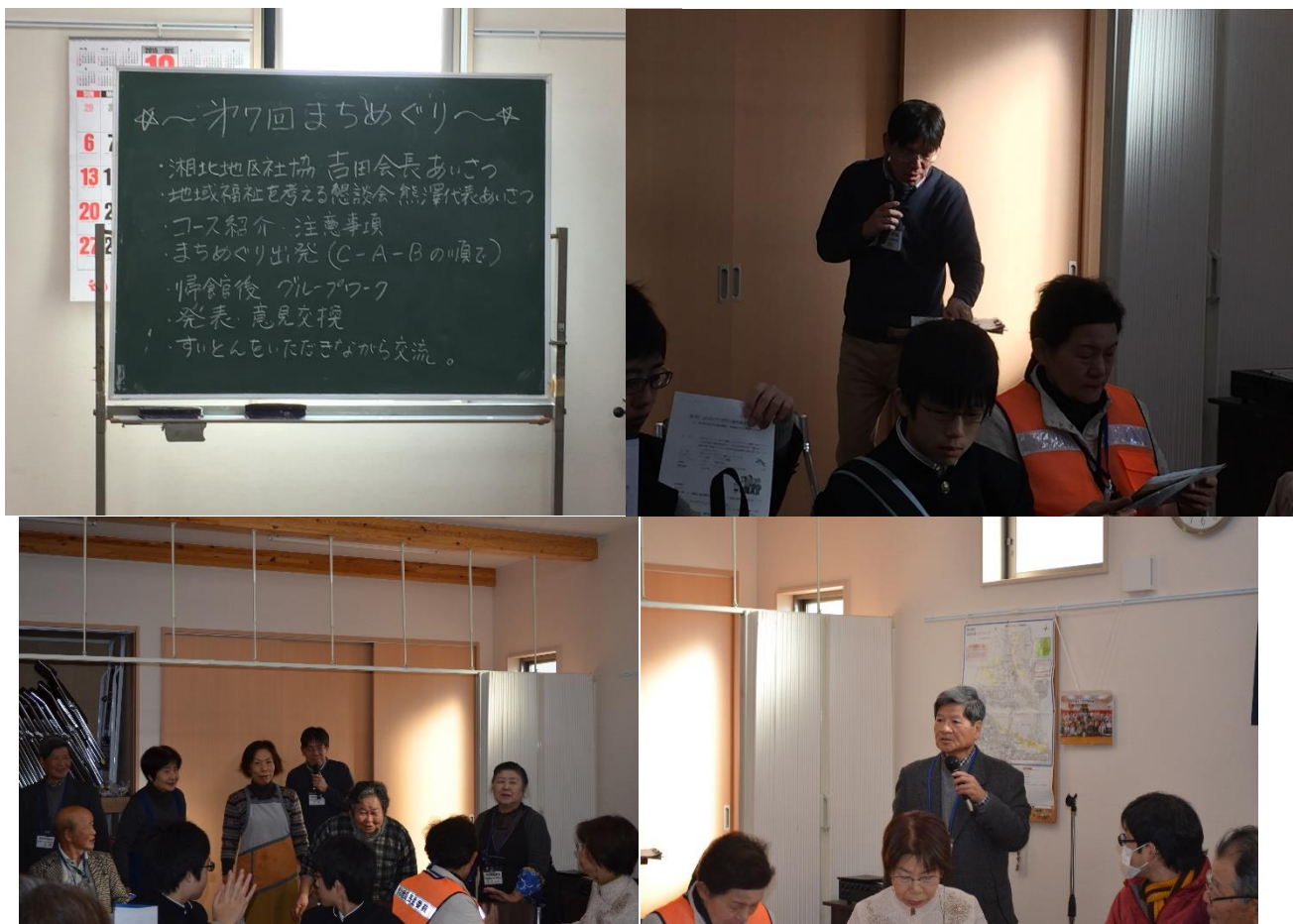
平成27年度 湘北地区社会福祉協議会

第10回 湘北地区の地域福祉を考える懇談会

目次

目次

当日の流れ	1
Aコース報告	2
Bコース報告	5
Cコース報告	10
感想	13



当日の流れ

当日の流れ

第7回まちめぐり(甘沼の福祉施設見学)

主催：湘北地区社会福祉協議会地域福祉を考える懇談会（第10年度）

目的：今年のまちめぐり（旧まち探検）は、平成27年2月開催し大変好評でありました香川地区の福祉施設見学を、今回は甘沼地区に移して継続企画としました。前回同様に地域のそれぞれの代表的な福祉施設を実際に訪ねて見学して知ることを目的とします。

日時：平成27年12月20日（日曜日）9:30～12:30

まちめぐり：9:45（出発）～10:50（帰館）

グループワーク：11:00～発表を含む

交流会：12:00～「すいとん」をいただきながら交流

解散時間：12:30予定



見学施設：

Aコース

自治会館⇒介護老人福祉施設ハピネス茅ヶ崎⇒生活介護事業STUDIO UZU⇒戻り

Bコース

自治会館⇒グループホームココファンホーム湘南の杜⇒

デイサービスセンター遊・湘南茅ヶ崎⇒戻り

Cコース

自治会館⇒生活介護事業湘南鬼瓦⇒グループホーム白星園⇒戻り

内容説明：

- ・主催側からの挨拶、各団体紹介、注意事項などのミーティング。15分程度です。
- ・3グループに分かれて「まちめぐり」をスタートします。（徒歩で各グループ2か所をめぐる）
- ・ゆっくり見学して約1時間で戻ります。
- ・今日見て感じたことをグループワークで模造紙にまとめます。・まとめを発表し、施設からの説明をいただき、その後全体で意見交換を行います。
- ・最後に地元産の野菜の暖かく美味しい「すいとん」を、いただき交流を深めて解散です。

Aコース

Aコース



★介護老人福祉施設 ハピネス茅ヶ崎

ハピネス茅ヶ崎では、入居者の方々が安心してその方らしい人生を過ごして頂けるよう誠意をもってサポートしています。

毎日3食のお食事は、食事ごと3種類のメニューからお好みでお選び頂いております。浴室は各ユニットに設置されている浴室の他に、特別浴室を設置しております。各居室が8つのユニットに分かれており、1ユニットの入居人数は最大10人。ユニットそれぞれが“ひとつの家族”のような生活が出来る環境を提供しております。また、決められた画一的な日課はなく、一人一人の個別ケアを追究し、その実現を図る事を究極の目標としています。あらゆる場面で担当の専門スタッフが、入居者の好みや希望を最大限に取り入れ24時間体制で支援しております。

その際、人権的尊重の立場から「行動制限をしない介護」「身体拘束をしない介護」の徹底に努めています。

★生活介護事業所 STUDIO UZU

アート活動を中心とした、日中活動の場です。主な活動は、織物や絵画などオリジナル製品の製作。一人ひとりのセンスや個性を活かした製品の製作・販売を通して、社会参加や地域との交流につなげています。また毎年開催される「表現展」への参加や、利用者の造形作品をモチーフにした製品づくりの試み、製品販売や、デザインコンクールへの応募にも力を入れており、アートを通じた障害者の社会参加の機会を拡大しています。

Aコース

○良いと思ったところ

・これからも充実していくことを願いました。すばらしい誕生日になりました。ありがとうございました。

・全部屋の日当たりの良さや茅ヶ崎市内の待機人数から、茅ヶ崎市は、しっかりと高齢者の方を考えられている町だと思った。

・施設の中で雰囲気をよくする工夫がいろいろと見られてよかった。

・介護保険施設でも、12年以降の施設は部屋が個室と聞きおどろいた。前にいただいたイメージと全く違って好イメージ。



・ハピネスは近くにあるのになかなか様子がわかりませんでした。家庭的な明るい雰囲気が良かったです。入所から看取りまで対応して下さるとのこと家族としては安心して、おまかせ出来しかも待機室もあり、よかったと思います。

・利用者一人ひとりを思いやって少しでも快適に過ごしてもらおうということが、とてもいいなと思った。

・利用者の方が、施設を少しでも快適に利用できるように、様々な工夫がありとあらゆる部分に施してあり、実に素晴らしい施設だと感じました。

・利用者さん一人ひとりに愛を持って寄り添うように接している姿にとっても感激しました。

・施設の方の説明でよくわかりました。一番知りたい金額なども具体的に説明があり良かった。

・まちなめぐりに初参加して、私の住んでいるところにもたくさん福祉施設があることを知ることができました。

・デイサービスなどは、お年寄りのみなさんが楽しみながら日々を過ごせていてとても良いことだと思いました。



Aコース

・わがまち甘沼にこんなに多く老人施設や生活介護事業所があることにびっくり。UZUはもう少し製品、販売をアピールしても良いと思った。好適な商品があったので。

○知ったこと

・身近なところに新しい施設も増えていることが良くわかった。

・甘沼には施設の多さを知りました。ハピネスさんの施設内容と富士山の眺めの素晴らしくホッとした日々が過ごせそうです。

自分自身の10年20年先を考えた時健康寿命を伸ばす日々の生活をする必要を感じます。

・住んでいる近くにとっても良い施設があることが、中に入って見てわかった。

富士山がきれいだった。

・老人福祉施設の内部を今回のように詳しく説明していただきながら見学出来て大変良かった。茅ヶ崎は周りの市に比べ施設が充実しているとの事



○疑問

・UZUさんでは作品が売れたりした時など、収入はどのくらいになるのでしょうか

⇒工賃として利用者に1,000円/月くらい

○改善点

・UZUの説明なく残念でした。例えば職員1名が外で5分位の説明は・・・

内部の様子や仕事内容などガラスに貼っていただいてももらっても良かったのではないのでしょうか。

・生活介護事業UZUのような所がもっと増えると良いと思いました。

ピーアール不足も感じた。

Bコース

Bコース



★ココファンホーム湘南の杜

「ココファンホーム湘南の杜」は茅ヶ崎市内にお住まいの方で、要介護認定を受けている認知症をお持ちの方を対象とした「グループホーム」です。フロア-9名の小規模な生活空間でご入居者さまとスタッフが「顔馴染みの関係」となって安定した生活が営まれています。

★デイサービスセンター遊・茅ヶ崎

デイサービスは正式名称を「通所介護」といいます。家に閉じ籠り勝ちになってしまいがちな要介護高齢者にとって、デイサービスに通うことは社会との関わりを持つことにも繋がります。

デイサービスでは、入浴や食事日常生活の世話、レクリエーションなどおサービスをうけられます。また、機能訓練が充実しているデイサービスなど様々です。自宅の玄関までの送迎もあり、歩行が困難な高齢者でも外出を楽しむことができます。

Bコース

【ココファンホーム湘南の杜】

- ・グループホームとディサービスの違いがわかり勉強になりました
- ・グループホームは閉鎖的にならないよう良い環境作りをつくっているのがわかった
- ・女性の方が多い（2件）
- ・利用者が使いやすいように、物が配置されていることがわかった
- ・グループホーム湘南の杜 茅ヶ崎市在居の方が優先とのこと
- ・グループホームには。茅ヶ崎市民の人しか入れないと知って、おどろいた。
- ・グループホームは利用者の方々ができるだけ自分ですということが分かりました。
- ・利用者の自立を支えていることがわかった。
- ・ココファンホーム湘南の杜では、平均年齢が高く、おどろいた。
- ・ココファンホーム湘南の杜で、入居者のほとんどが90歳をこえていると聞いてとても驚きました。
- ・認知症でも自分たちのように普通の生活にできるようがんばっている事が分かった



- ・明るく楽しいふんいきで良かった。職員の方も親切そう
- ・グループホームの利用者の人たちはのんびり楽しそうに暮らしていてうらやましかったです。
- ・ココファンホームは、外観がとてもきれいで、良いと思いました。中も明るくてきれいだと思いました。
- ・地域との交流に力を入れている

Bコース

【遊】

- ・ディサービスセンターでは多くの方が楽しそうにレクリエーションをしていて、場所によってもやっていることは違うのだと思いました。
- ・どちらの施設も、多くの方が楽しくらせるように色々な工夫をしていると思いました。
- ・通所介護 遊 明るく、いい雰囲気。スタッフの熱意を感じた。
- ・ディサービスセンターでは、レクリエーションがすごく楽しそうだった。
- ・ディサービス遊の利用者の方々は歌を歌って元気でした。



- ・ディサービスは職員みんなで歌ったのしそうでした。
- ・男性はノリが悪いと思った。
- ・ショートステイは、使う人にとってはとてもいいけれど、そこで働く人たちは大変だと思いました。
- ・「ショートステイ」ははじめて知ったけど、とても便利なものだと思いました。
- ・ディサービスセンターは、たくさんの「ショートステイ」用の部屋があっ

てすごいと思った。

- ・ディサービス遊は建物の作りが良くできてた。天井高く開放的
- ・ショートステイ MIX ディサービスのハイブリッドな形態が良い形と思った利点
 - ・知識の相互作用
 - ・介護者の行き来しやすさのレベル（ステージにある
- ・ディサービス遊のショートステイ、介護の「かけこみ部屋」誰でも受け入れると
言うことで、様々な能力、判断力を要求されそうですすごいと思った。
- ・ショートステイの周辺関連区との情報やりとり、ケアマネージャ中心（経由）で
行っている所にIT使うことでもっと楽にできるようになるかも
- ・遊 併設ショート、力入れている。
- ・ディサービス、ショートステイで説明くださった方は説明が分かりやすく、かつ、
多岐に渡った広い知識をお持ちと感じた
- ・今後はひょっとすると「ディサービス遊」、ショートサービスが高齢化時代のキ

Bコース

モになるのかもと思う

- ・時間があれば施設内の見学をしたかった

【共通】

- ・安心した。地域に施設があり
- ・どちらの施設も、来る人が多く満室に近いと聞いたので、日本全体としては施設の数足りていないのではないかと？

- ・多くの職員が介護施設で働いておられ、大変な仕事だと再認識させられました
- ・利用者が参加している日常業務をもう少し詳しく知りたかった！

- ・甘沼は坂が急だった
- ・甘沼は大きな家が多い
- ・利用者が生活しやすいように、従業員が工夫していることがわかった。

- ・きれいな施設
- ・このような施設に入らないような健康でありたい。

平均寿命を越した男性

- ・以前、校外学習の時に介助犬を育てる方とお話をしたときに「ありがとう」や喜ぶ顔がやりがいというのが同じだと思った。



- ・どこの場所でもその人に合った生活の工夫がされていておどろいた。
- ・見学時間が短く残念！
- ・職員は熱心に働いていることが伝わってきた
- ・経費負担の大変さも実感した
- ・1グループの人数が多かった（10くらいかな？）
- ・認知症の人は約450万人と聞いて、とても多いなとビックリしました。
- ・どちらの施設も、お年よりと楽しそうに接していた。
- ・いろいろな所に工夫がされていてすごいと思った。
- ・各施設共、明るく楽しく過ごしているようでうらやましいで～～～す！
- ・地域に開かれた開放的な施設、利用者の皆さんの見送ってくれた姿が印象的
- ・職員のみなさんととてもやさしそうでした
- ・中学生との交流ができて非常に良かった！
- ・施設管理者の方が地域にとけこもうとする姿勢が素晴らしい
- ・各施設の職員の方々のご苦勞が判った
- ・利用者の方は様々で個別対応するのは大変だと思った
- ・もう少し質問、見学をする時間がほしかった

Bコース

- ・スタッフの対応がていねい！明るく元気よく暖か心の伝わるふんい気

○質問

- ・遊 デイのフロアを地域で使えないかな？

⇒月～日とデイサービスを開所し、ショートステイを併設しているため夜間も利用をするため、施設での利用以外は空き時間がないため使用は難しいとのこと。

～まとめ発表後のひとコマ～



鬼瓦さんより漬物
いただきました



すいとん準備有難うございました



美味しいすいとん



コース

コース



★湘南鬼瓦

湘南鬼瓦は翔の会が法人設立後、最初に設立した通所施設です。1階と2階に知的障害の方、身体障害の方が、それぞれ日中の時間を過ごす複合施設となっています。

おやつ作りや畑作業、音楽プログラムなどレクリエーションの活動を中心に、キャンドル製作やアルミ剥がしなどの軽作業も行っています。ときには地域の方による音楽イベントも開かれ、施設内はいつも活気ある雰囲気になっています。外出や地域のイベントへの参加の機会も設け、利用者の社会参加を積極的に進めています。一方、重度の身体障害の方には、入浴や排泄など日常生活のお手伝いをする他、常時看護師を配置し、胃瘻や吸引などの医療的ケアも行っています。

★白星園

心にハンデを感じている仲間が、地域社会の中で本来の自分を見出し、生活をエンジョイすることができる定員6名ほどの心やすらぐホームを目指しています。

もともと緑ゆたかな土地です。ここに来ると、人は誰でもがホッとし、心やすらぐでしょう。

心の病が回復して退院した人が社会復帰を図るのに適した環境作りは、ここを訪れて下さるすべての人と共に、自然の静けさに心和むような場所から生まれます。山の懷に抱かれたような広々とした土地で、春には菜の花や、燃えるような新緑。夏には、蝉しぐれや、ジンジャーの真っ白で大きな花たち。秋にはたわわな柿や栗の実り。冬には静寂と枯葉の温もり。四季折々の自然の妙が、心を楽しませてくれるでしょう。自然を慈しみ、大切にしながら、この地が小さな小さな希望の光となれたらと念じます。

【湘南鬼瓦】

- ・はじめて訪問しましたが施設は今リフォーム中で、広い間取りあたたかみを感じられ活動しやすい施設と思いました。一人一人に応じた支援を行い職員様のご苦労も感じられました。
- ・さすが豊島議員が出たところ。
- ・施設内の色彩が豊かで障害の方でもわかりやすく利用できるところがとてもよかった。
- ・建物内部の壁が鮮やかな色で塗られているのが印象的でした。
- ・いろいろな人の障害に合わせたお風呂やトイレがあり、とても居心地がよく住みやすそうだった。
- ・トイレにベッドが置かれていたのにはびっくりした。
- ・情報を伝えるために名前ではなく顔写真なのでわかりやすかった。
- ・施設の中に車椅子が入れるトイレや、紙おむつを取り替えるベッドがある。感心しました。
- ・利用者の方と介護する側の事を考えて設計されてるとのことでした。
- ・お仕事が様々で日々やりがいをもって生活していると感じた。
- ・体調の管理や本人のやりたいことを尊重して生活できるように工夫しているところがよかった。
- ・看護師が常時いるのは心強いと感じた。



- ・アクティビティーが豊富で地域でもよくお会いします。
- ・広いトイレやベッド。スタッフさんも安心できると思う。
- ・地域に大人の障害者を支援する施設があることを知って心強いと思った。
- ・障害者だからできないというものを少なくしてくれる施設だと思う。障害者の方が楽しく暮らしていると思った。
- ・それぞれの人が自分の役割をもっていて障害の人でも皆で助け合えばいろいろな事に取り組んでいけるのではないかと思った。

【白星園】

- ・ご入居者様の笑顔がすごく印象的でした。長年住んでる方も多くて地域に必要な家だと思いました。
- ・入居されている方6名。皆ご高齢ですが助け合って生活されているご様子がよくわかります。家庭的な雰囲気です。職員さんが少なく、ボランティアで協力していただける人が必要と思います。
- ・自然の豊かさを上手に活用していました。
- ・周りが緑に囲まれて穏やかな環境で住みやすそうだった。



コース

- ・自然が障害の人に良いと知りもっと身の回りにも自然を増やした方がいいと考えた。
- ・ペットもいたので、本当の家族みたいに手分けして住んでいた。
- ・山の中で自然に囲まれて楽しそうだった。
- ・暮らしに温かみがあってアットホームな雰囲気がよかった。
- ・利用者さんが自宅のように楽しそうに居心地がよさそうに暮らしていた。
- ・家族のように楽しく暮らせている。日本人の思いやりや温かみがとてもよく表されている。
- ・犬を飼うのは入居者の心に良い影響があると思った。



- ・街で会う方が、ここで暮らしていて再会できてうれしかった。
- ・回りの事は自分たちでやり。家事は順番制で生活していました。自立できなくなった後の受け入れ体制の必要性を感じました。
- ・メンバーさんたちは皆様が来て下さるのが待ちきれず二度もお茶を入れ替えていました。また来て下さるのを願っています。白星園園長

【共通】

- ・施設とどうつながるかが今後の課題です。災害の時もどのように支援していくのかなども課題です。
- ・利用者の気持ちがあっただくなるような心配りが感じられました。家族のようなつながりでした。
- ・利用者の方々がより楽しく楽に暮らせる工夫がしてあり、障害者の方々への接し方を考えることができました。
- ・どんな障害があっても楽しく普通に生きる権利はある。
- ・地域に住んでいてはじめての訪問でした。まちめぐりのおかげです。今後も続けてほしい。
- ・休日にもかかわらず、対応してくださりました。施設を運営されてる方々と一緒に地域で生活していきたいという思いを強く感じました。
- ・歩いている途中で歩道が切れているところがありました。

感想

平成28年2月19日(金)に香川公民館集会室大にて、平成27年度3回目の湘北地区の地域福祉を考える懇談会を開催し、まちめぐりの振り返りを行いました。感想、意見等は次のとおりとなります。

Aコース

(受入施設より)

○ハピネス茅ヶ崎:当日は人数が多いので、2つに別れて説明した。もう10分でも長い時間があれば、もう少し施設の良いところを説明できたかと思います。玄関には対話型ロボットが置いてあり、入居者とお喋りしたり一緒に体操も出来ます。

○Studio Uzu(翔の会):UZUが当日は日曜日で閉館していたので、職員の説明が出来ず外からの見学だけで失礼しました。利用者の収入は年々下がっており、今年度の工賃は月1,000円程です。

(感想)

○道中にある他の施設も外から見ながらまちあるきを行いました。「デイサービスさくら倶楽部」は閉まっていたが、あかねの方が説明してくれたので助かった。「福寿甘沼」は昨年から営業は開始した。個室に入居している、住宅型有料老人ホーム。

○時間が少なくて質問タイムが少なかった。今後はもう少し時間に余裕を持たせられたらと思った。距離も長く歩き方もゆっくりで致し方ない。

Bコース

(感想)

○担当として、グループの先頭にたって一生懸命に上った。職員の説明のなかで、「入居者に戦中戦後の厳しい人生を過ごされたと敬意を持って介護しており、利用者からいつも感謝の言葉で励まされる」との言葉が印象に残っている。

○グループのしんがりを務めた。打ち合わせの段階ではシニアメゾンの名前だったが、11月から変わってココファンファームとなった。最終報告書では名称はココファンファームに変更する。

デイサービス遊は今回の見学の時間に合わせて、いつものスケジュールであれば入浴時間のところを変えて体操の時間にして対応してくれた。

○中学生も質問していてよかった。普段はあまり歩かない道だったので新たに知ることができた。

Cコース

(受入施設より)

○湘南鬼瓦(翔の会): 2階がまだ工事中であったが1階は完了していたので、パンフレットをお配りして全部を説明できた。中学生が来てくれてうれしかった。これから、この体験をした子たちが育っていくことを考えるとうれしい。

○白星園: 白星園の場所は、40年前はセザンヌの世界だった。地主さんが「愛と福祉のまち、ボランティアが集まる所、福祉を大切にしてください、愛の街に」と1700坪を寄付して下さった

当日は白星園の利用者も張り切って動いているので、いつもの様子との違いにビックリしました。皆さんが訪問してくれたこと、交流が持てたことは本当に良かったです。

また、今回の懇談会に参加したきっかけにより、ボランティア香川から毎月一回訪問してくれることになり、利用者の方の意識が前向きになっている。

以前、民生委員さんが実態調査にいらしたとき「調べる」という言葉に反応して入居者が大声で騒いでしまったが、民生委員さんが全く動じないでとても助かった。

当日参加した2人の職員からはメールを預かったのでお送りしました。



白星園職員の方からのメール

先日はありがとうございました。広い甘沼地区で多数の方々が町めぐりに参加くださり白星園を訪れてくださり感謝します。又、中学生の皆様の真剣なまなざしの町めぐり訪問の時間、まとめ・発表の時間の様子など、はば広い人々がひとつになり地域の関心を深めようとの努力、気持ちが強く伝わって来ました。今も昔も変わらぬ甘沼を愛する、伝える為自治会長をはじめ各組長さん達の努力と思います。これからもよろしくお願いいたします。
白星園 職員

12月20日の「まちめぐり」の当日、白星園への訪問は15分から20分位の短時間となりましたが、地域の皆様に白星園の建物内にも入っていただき、入居者の方々と直接交流していただくことができました。実際に入居者の方と会っていただくことで、精神障害を持つ人達の生活の様子を少しでも知っていただけたように思います。

また、当日お茶をお出しして、皆様に喜んでいただけただけでなく、入居者の方々も、役割を持つ喜び、感謝される喜びがあったらと思います。皆様のお蔭で、良い雰囲気交流になったと思います。その後、自治会館では、グループごとのまとめの作業の後、中学生による発表がありました。中学生の堂々とした発表の様子に驚かされました。白星園について、「お茶があったかかったけれど、白星園があったかかった。」との言葉をいただき、涙が出そうな感じになりました。自治会館では最後においしいすいとんをいただき、有難かったです。今回の「まちめぐり」の中で、いろいろな出会いがあり、精神障害者の方達へのお心遣いにも触れ、心強く思っています。参加させていただき、有難うございました。
白星園 職員

感想

(感想)

○湘南鬼瓦ではトイレの中にベッドがあることで、中学生も初めて障がい者の通所施設の見学に新鮮な驚きの感想をもっていた。

○白星園の方がお茶を暖めて待っていてくださり感激しました。本当に心を込めた受け入れをしてくださった。今回の「まぢめぐり」で初めて訪問できて、とても良かったと思います。

ケアパークの裏に湘南鬼瓦があり、その奥に白星園があり、利用される方にとっては地域の方たちとの触れ合いが困難であろうと感じました。白星園の玄関のついたての墨跡には感動しました。

○ボランティア香川として地域福祉を考える懇談会で白星園と出会い、お手伝いをする事になって、ボランティア香川としても大変勉強になった。

その他

○1月20日の推進協で北陽中、鶴が台中の先生達にもお会いして生徒さんたちの見事なまとめ方に感心したことを、推進協の皆さまにも報告した。

○「まぢめぐり」の後に各施設を回ったところ、皆喜んで今後とも地域の人々に知っていただきたいと感謝していた。

○「すいとん」はとても美味しかった。湘南鬼瓦から漬け物を寄贈して頂き美味しかった。

○施設の利用者も1名「まぢめぐり」に参加できてよかった。ありがとうございました。

○認知症のグループホームの利用者でもやはり、お年寄りはおてなす気持ちが強い方も多し。また、施設に訪問者があり、交流があるとよい刺激となる。

発行者情報

発行者情報

湘北地区社会福祉協議会 第10回湘北地区の地域福祉を考える懇談会

253-0082 神奈川県茅ヶ崎市香川2-18-17 (湘北地区ボランティアセンター内)

電話 0467-27-2030

Fax 0467-27-2030

<http://members2.jcom.home.ne.jp/syakyo-shouhoku/>

